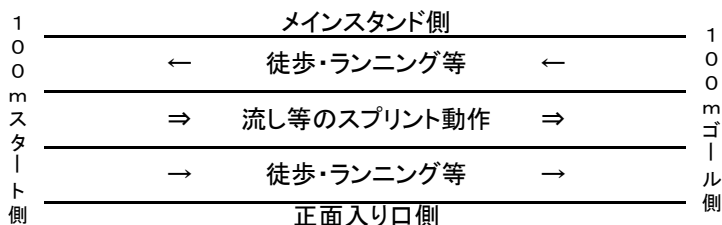


競技注意事項

1 競技会全般に関して

- (1) 各校引率教員は、競技開始30分前までに本部にて受付を完了すること。この受付がない場合、選手は競技に参加することができない。
- (2) 本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則に則って行う。
- (3) 選手の変更は認めない。
- (4) ウォーミングアップについて
 - ① 本競技場
 - ・ 競技開始15分前まで、練習可能とする。
 - ・ 競技会準備の妨げにならないようにすること。
 - ② 北陸上競技場
 - ・ 開場は両日とも7:45とする。
 - ・ 終了時刻は両日とも、最終種目招集開始時刻までとする。
 - ・ バトン練習でマーカーを貼り付けた場合は、終了後にはがすこと。
 - ・ 投擲練習は禁止する。
 - ・ 他人の怪我につながる可能性のある行為をしないこと。
特にリレーのダッシュマークを靴やバトンで代用する行為は大変危険である。
 - ③ レクリエーション広場
 - ・ 投擲練習は禁止する。
 - ④ 本陸上競技場雨天走路
 - ・ 100mスタート側から一方通行とする



- (5) 施設設備の使用について
ロッカールーム(北側招集所側)の使用を許可するが、鍵を毎日返却すること。
- (6) 大会準備分担について
大会準備担当を以下の通りとするので、開門後速やかに準備に取りかかること。

器具	担当校	人数	担当者
ハードル・テント・長椅子	愛知	5	服部 光幸 (愛知)
	愛工大名電	5	秦 聖喜 (旭丘)
	愛産大工	5	南 康次郎 (愛三大工)
	名城大附	5	船本 広之 (愛工大名電)
棒高跳器具一式	名古屋大谷	5	二村 大助 (中京大中京)
走高跳器具一式	昭和	5	赤井 裕明 (昭和)
走幅跳・三段跳器具一式	瑞陵	5	寺島 貴 (瑞陵)
投擲ライン	名古屋	5	鈴木 孝則 (名古屋)
	愛知商	5	北浦 弘之 (熱田)
投擲器具一式	向陽	5	山本 雅司 (名古屋大谷)
スターティングブロック	名古屋西	4	原田 貴之 (愛知)
スターター	中京大中京	4	岩崎 万知 (中京大中京)
風向風速	市工芸	4	赤司 学 (市工芸)
庶務・受付	名古屋南	4	鴻村 一寛 (名東)
			石井 哲郎 (名古屋南)
開門・閉門・環境美化			安田 純久 (天白)
			久田 尚弥 (至学館)
			新美 準人 (菊華)

- (7) 施設設備の利用について
 - ① ゴミの持ち帰りに務めること。また、近隣のゴミ箱等に捨てることもしない。
 - ② 競技終了後は、速やかに競技場外に退出すること。清掃当番校が清掃のため巡回をする。

- ③ 以下の学校は「清掃当番校」であるため、競技終了後、速やかに本部前に集合をすること。

5/3(木・祝)	瑞陵	明和
5/4(金・祝)	松蔭	名東
5/5(土・祝)	天白	名古屋西

(8) 写真及びビデオ撮影について

- ① 撮影可能な方
- ・ 当該選手の保護者およびチーム関係者
- ② 撮影禁止の場所及び状況
- ・ 各種目におけるスタート地点後方
 - ・ 跳躍種目の助走後方および着地前方
 - ・ 走高跳において、マット正面(クリアランス動作中)
 - ・ 競技している時間とはことなる状況の撮影(準備動作や試技を待っている時間等)
- ③ 他者に迷惑を掛ける行為や、撮影対象の肖像権を侵害する行為が見られると主催者側で判断した場合、すみやかに警察および関係機関に連絡を取ることとする。

2. 競技に関して

(1) ナンバーカードについて

- ① 規定のものを、胸部・背部に必ず固定しておくこと。
- ② 跳躍競技については、いずれか一方のみでもよい。
- ③ トラック競技については、腰ナンバーカードを招集時に受取り、右腰やや後部につけること。競技終了後は直ちに返却をすること。

(2) 使用器具について

- ① 原則として競技場備え付けのものを使用すること。
- ② 但し、棒高跳における「ポール」については私物を使用してもよい。
- ③ スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。

(3) 招集時間について

招集時間に遅れた選手は棄権とみなし、その種目の出場を認めない。

	開始	終了
トラック競技	競技開始40分前	競技開始20分前
フィールド競技(除:棒高跳)	競技開始40分前	競技開始30分前
棒高跳	競技開始70分前	競技開始50分前

(4) リレーのオーダー用紙について

以下の時間帯に提出を完了すること。

1日目	男子	4×100mR	予選	招集完了60分前
	女子			
2日目	男子	4×100mR	決勝	招集完了60分前
	女子			
3日目	男子	4×400mR	予選	招集開始時間まで
	女子		決勝	招集完了60分前

(5) スタート動作における競技規則の国内適用について

本競技会におけるスタート規則は、競技規則第162条5における国内適用を用いることとする。

(6) 高さを競う競技に関する、バーの上げ方について

種目	練習			最初の高さ
男子 女子	走高跳	1m60	1m80	1m65 … 5cmずつ … 1m86 以後、3cmずつ
		1m30	1m50	1m35 … 5cmずつ … 1m50 以後、3cmずつ
男子 女子	棒高跳			2m60 … 20cmずつ … 3m60 以後、10cmずつ
				2m00 … 20cmずつ … 3m00 以後、10cmずつ

天候等の状況によって変更をすることもある。

(7) 踏切板の位置について

女子三段跳については9m板で実施する。

(8) 番組編成について

- ① 次ラウンドへの進出者の発表は、通告で行うとともに、掲示を行う。
- ② 800mにおける各レーンへの選手配置は競技役員(出発係)の指示に従うこと。

(9) 競技打ち切り時間について

以下の種目において、表のと通りの打ち切り時間を設ける。

男子5000m	22分00秒00
女子3000m	12分00秒00
男子5000mW	30分00秒00
女子5000mW	35分00秒00

(10) 県大会出場者について

- ① 県大会出場者は、各種目上位6名とする。
- ② シード選手は、支部予選の結果に関わらず、県大会に進出することができる。(該当選手は別紙のとおり)
- ③ シード選手が6位入賞をした場合、7位以降の選手を繰り上げて、シード選手以外の6名が県大会へ進出する。
- ④ トラックレースにおいて、シード選手が多く、決勝レース以前のレースで県大会出場者を決める必要がある場合、決勝ラウンド1つ前のラウンドの記録が良い者を県大会出場の対象とする。
- ⑤ 以下に掲げる競技においては、6位以内に入賞に加え該当記録を突破する必要がある。

種目	記録	備考
男子5000mW	28分00秒00	
女子5000mW	33分00秒00	
男子ハンマー投げ	35m00	記録未突破者は、競技終了直後3投試技をすることができる。
女子ハンマー投げ	25m00	

- ⑤ 県大会出場者は最終日終了までに、学校毎に出場手続きを本部県大会申込所で行うこと。

(11) 表彰及び得点について

- ① 各種目6位までを入賞者とし、賞状を授与する。表彰状を表彰室まで取りに来ること。
- ② 各種目の得点は、1位=6点、2位=5点…6位=1点とする。
- ③ 3日目終了後に閉会式を行う。総合6位以内、トラック、フィールドの部3位以内の学校は出席をすること。